

P8D

品番 700344 P2070 B BU
700342 P2058 GL

電球の交換・お手入れ

電球の交換について

電球は、器具表示のランプをご使用ください。指定以外電球を使用すると、火災の原因となることがあります。

電球の交換方法

1. 電源を切り器具の温度が下がってから行って下さい。
2. やけどや感電の原因となることがあります。
2. グローブをおさえ金を外す。グローブを外す。
3. 電球を交換する。
4. 本体にグローブ、グローブおさえ金を取付ける。

取付けが不完全な場合、感電・落下の原因になります。均等に締付けない場合、また過剰に締付けた場合ガスが漏洩する場合があります。

お手入れについて

●明るく安全にご使用いただくために、定期的に清掃、点検してください。(6ヶ月に1回程度)

●グローブ、石けんにひたした布をよくしぼってふき取り

乾いたやわらかい布で仕上げてください。

●本体、グリル：石けんにひたした布をよくしぼってふき

取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

●シンナー、ベンジン等揮発性のものでない限り、殺虫剤を

かけてください。変色・破損の原因となります。

●照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状況におい

て約9年か10年です。安全に使用するために、あ9年に

1回程度の器具の点検および、6ヶ月に1回程度の清掃を行

うようとして下さい。

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

700344 P2070 B BU
の参考図です。
700342 P2058 GL
の図はありません。

警告

- 器具を改造したり部品交換をしないでください。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- ランプは器具表示の物を使用してください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因となります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。工事店、販売店にご相談ください。
- 器具や電球（ランプ）を布や燃えやすいもので覆わないでください。火災、感電の原因となります。

注意

- 本体の取外しは、工事店、販売店に依頼してください。しろうと工事は、危険です。
- 点灯中や消灯直後のランプにさわらないでください。ランプやその周辺が加熱しておりやけどの原因になります。
- 温度の高い物を置かないでください。器具の下にストープ等を置かないでください。火災の原因となります。

仕様

室内用 室内でお使いください。

定格

使用電圧	使用電球
AC100V	E26 60W 普通電球

安全に関するご注意

器具の施工には、電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。工事店、電器店様へこの説明書は必ずお客様にお渡しください。

警告

- この器具は、室内用照明器具です。下記の使用環境、条件では使用しないで下さい。
- 感電・火災落下の原因となります。
- 周囲温度が35℃以上の所。
- 屋外の水のかかるところや、風呂場など湿気の多い（85%以上）所。
- 振動、衝撃の激しい所や、腐食性ガス、可燃性ガスの生じる所。
- 粉塵の多い所。
- 器具の施工は、施工説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると火災、感電、落下の原因となります。
- 凹凸のある面には、取付けないで下さい。火災・感電・漏電の原因となります。
- 垂直な壁面への正立方向の取付け専用です。取付け方向の指示をもつて下さい。
- 指示以外の取付けをすると火災・落下につながるおそれあり。

注意

- 器具に表示された電源電圧の±6%以内で使用して下さい。火災・感電の原因になります。
- 温度の高くなる物の上に取付けないでください。ガス機器やその排気管の付近に取付けないでください。火災の原因になります。

各部の名前と付属部品

△ 注意 施工前に部品をご確認ください。

本体部分

本体（真鍮製）=1ヶ

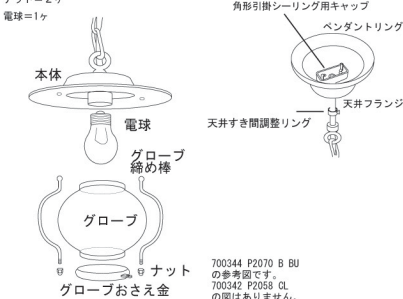
グローブ（クリアーガラス）=1ヶ

グローブ締め棒=2ヶ

グローブおさえ金=1ヶ

ナット=2ヶ

電球=1ヶ

700344 P2070 B BU
の参考図です。
700342 P2058 GL
の図はありません。

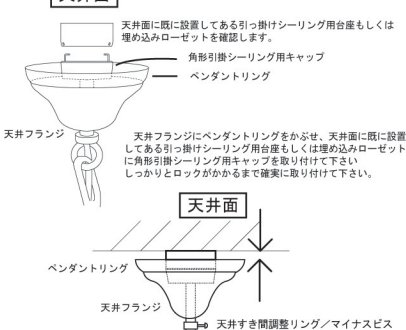
天井面への取付け

注意

- 既に設置されている引掛シーリング用台座、埋め込みローゼットの天井面への取付け強度が本製品の重量（真鍮チェーン等含む）に耐えられない場合取付けできません。
- 材料天井面への取付けは、30度までですが、吊フック等を使用すれば、45度まで対応できます。吊フックにしましは一般市販品でチェーン等を含んだ重量に耐える商品をご使用ください。

取り付け方 △ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

天井面



しっかりと天井部分に取り付けた後、天井フランジと天井部分のすき間調整を天井すき間調整リングのマイナスビスを固定して使い行って下さい。

チェーンを延長される場合は本体とフランジ部分の総重量が5kg以下になる範囲で行して下さい。許容重量を超えますと天井面に既に設置してある引掛シーリング用台座もしくは埋め込みローゼット破損し落下するほか、火災の原因になります。